

藍住町 議会だより

第62号

平成22年 8月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



親子でにこにこクッキング（藍住町夏休み親子教室）



目次

- 6月定例会・・・・・・・・・・・・・・ P.2
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・ P.4～9
- 視察研修報告・・・・・・・・・・・・・・ P.10
- 議会のうごき・・・・・・・・・・・・・・ P.12

9月定例会

6月定例議会が6月8日から18日までの11日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

町長提案

- 藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決
- 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正について
・・・・・・・・・・原案可決
- 藍住町特別職報酬等審議会条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意について・・・・・・・・・・岡田 弘

議員提案

- 藍住町議会議員政治倫理条例の一部改正について・・・・・・・・・・原案可決

諮問

- 人権擁護委員の推薦につき、意見を求めることについて・・・・・・・・・・中野 稔

平成22年 第3回臨時議会

5月13日開催の臨時会において次の2議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

- 高圧洗浄車の購入契約の締結について
請負額・・・・・・・・・・1,312万5千円
請負業者・・・・・・・・・・いすゞ自動車四国株式会社・徳島支社
- 藍住町汚泥脱水処理施設整備工事の請負契約の締結について
請負額・・・・・・・・・・9,292万5千円
請負業者・・・・・・・・・・大徳建設株式会社

請

願

- 生活保護の老齢加算の復活を国に求める請願書・・・・・・・・・・不採択
 - 下水道料金の請願書・・・・・・・・・・不採択
- 2件の請願がありました。少数により不採択となりました。賛成

平成22年 第4回臨時議会

第2回臨時会(4月26日)において地方自治法第127条第1項による資格決定により失職した西岡恵子氏から徳島県知事に対し、議会の決定を不服とする審査請求と執行停止の申立てが行われました。

これに対する議会の弁明書と意見書を知事に提出する必要があるため、5月28日開催の本臨時会に上程され、賛成多数で可決しました。

●審査申立てに対する弁明書について

「被選挙権を有しないとの決定は、手続き的にも実体的にも違法・不当なものではなく、本件審査申立てを棄却する裁決を求める」との内容で可決

●執行停止申立てに対する意見書について

「執行停止を認めるべきではない」との内容で可決

藍住町議会議員政治倫理条例の一部改正について

昨年1月から1年半にわたり検討委員会及び全員協議会で議論を重ねた結果、6月18日の本会議において一部改正案が議員提案され、可決されました。改正点は、次のとおりです。

1.「政治倫理基準(第4条)」のうち、「町から活動及び運営に対する補助又は助成を受けている団体等の長に就任しないこと。」を「団体等の役職に就任しないこと」に変更し、範囲については、規則で「藍住町から直接助成を受けている団体に限る」ことを明記し、また、役職の範囲は正副会長として、ただし書きの中で、「藍住町議会を代表してその役職にある場合を除く」ということを追加しました。

2.「町工事等に関する遵守事項(第16条)」の中で、いわゆる下請けに当たる請負工事や、業務委託、一般物品納入についても規制の対象にしている部分について、これを削除しました。これは、下請けに当たる工事等の契約を一律に規制するのは適当でないのではないか、また、下請工事等の関係は、「政治倫理基準(第4条)」の中で、「特定業者を推薦し、又は紹介するなど有利な取り計らいをしないこと。」と規定されており、これだけでいいのではないかということから、削除することとなったものです。

水道管の耐震化進捗状況と老朽化した水道管の更新状況について

耐震化率は、配水管（基幹・支幹管路）が2.1%、導水管は11.6%

問 東南海・南海地震の発生確率は30年以内に60%と非常に高い確率で予想されている。

災害時、いかにして町民のライフラインを確保するかが行政の責務であると考えます。復旧が一番難しいのが上水道だと思いが、水道管の耐震化と老朽化した水道管の更新状況、災害時の復旧体制は。

答 浄水場を中心とした基幹管路と石綿管を含む老朽管から耐震管への布設替え工事を重点的に実施する計画を進めています。今年度、配水管の耐震化率は2.8%、導水管は28.6%と大幅に向上するとともに、懸念されている石綿管が完全に撤去される予定です。

災害時、一刻も早く設備を復旧するため、藍住町水道工事協同組合に協力を要請し、応急対策行動計画を今年度中に策定したい。



矢部 秀行 議員

川の氾濫危機管理対策、正法寺川上流の改善対策は

現在の排水能力は、正法寺川が毎秒8トン、前川は毎秒4トン、千間堀が13.1トンである

問 集中豪雨のニュースを見聞きする度、内水面の危機管理対策は大丈夫かと危惧するが、正法寺川、前川の氾濫危機管理の現状と対策は。

また、正法寺川は生活雑排水等流入により水環境の悪化が著しいが、国・県・町協調による環境改善努力や正法寺川を考

える会等により改善の兆しはある。本村川あるいは正法寺川流入口以北の改善が喫緊の課題であると思うが。

答 何よりも排水の能力を高めていただくのが一番の解決策であり、今後国・県に要望を続けた

い。正法寺川の環境については、本村川に流れ込む排水路の周りを石組みで囲み、油等がなるべく流れ込まないようにと配慮を行っている。

役場周辺の公共施設の整備について

一度に大規模な改修や改築を行っていくには財政的に厳しい状況

問 町民会館、福祉センターなど役場周辺の施設は建築から30〜40年近く経過しており、その機能が十分に活用されていないと感じられる。これらの施設を一つにまとめ、新たな拠点施設を整備してはどうかと思うが、多額の費用も要するので慎重な判断が必要である。どのようなビジョンを持っているのか。

総合的な施設とするのか、また、こういった施設にするのか、今後検討したい。急を要する修繕等については、その都度、対応をしていく。

答 まずは学校施設の改築を優先し、その後、財政状況や優先度により順次計画をしたい。その中で、個々の施設とするのか



役場周辺の施設

ゆめタウンについて

周辺道路対策を十分にいき、ご迷惑がかからないようにしたい

問 現在の状況とオープンに向けて周辺の道路において交通渋滞が予測されるがその取り組みはどうなっているか。また、町民の方からゆめタウンの建設により遊水地であったところが無くなり、台風時等、道路や住宅で冠水などの大水害が発生する可能性があり正法寺川の排水ポンプの増設を求める陳情があったと聞く。周辺の団地や住宅の水害対策はどのようにす

答 現在の状況とオープンに向けて周辺の道路において交通渋滞が予測されるがその取り組みはどうなっているか。また、町民の方からゆめタウンの建設により遊水地であったところが無くなり、台風時等、道路や住宅で冠水などの大水害が発生する可能性があり正法寺川の排水ポンプの増設を求める陳情があったと聞く。周辺の団地や住宅の水害対策はどのようにす



北環状線 千鳥ヶ浜交差点

答 現時点では、本町単独の助成は予定していません。厚生労働省の動向に注目するとともに、健診の重要性を積極的にPRしたい。

町倫理に関する条例の制定について

現行の条例・指針等により十分その効果を発揮していると考えている

問 石井町において、処分場業務委託をめぐる贈収賄事件で、町議2人が逮捕された。鳴門市や北島町でも倫理条例が制定されているが、この事件を受けて条例をさらに厳しくするよう検討しているかと聞く。本町においても、町民の疑惑や不安や不信を招くような行為の防止を図り公務に対する町民の信頼を確保する為の条例を制定すべきであると思うがどうか。

答 地方公務員法や職員の懲戒の手續及び効果に関する条例により、服務の根本基準をはじめ法令遵守の原則、信用失墜行為の禁止、守秘義務、職務専念義務等が規定されている。これらに違反した場合、分限または懲戒



小川 幸英 議員

処分を受け、さらに本町では、懲戒処分の指針を細かく定めている。不祥事防止は、条例制定よりもコミュニケーションや信頼関係により目的が達成できるものと考えており、今のところは従前どおりの方法で臨みたい。

問 がんの中で唯一予防が可能になった子宮頸がん。11歳から13歳頃にワクチンを接種すれば70パーセントは予防可能と

聞くが、接種には保険が効かない為、5万円前後の自己負担が求められる事から二の足を踏む人が多い。公費で全額補助してはどうか。

子宮頸がんワクチン 予防接種について 当面は厚生労働省の動向を見守りたい

その他の質問

- ◆ 正法寺川水質浄化について
- ◆ 保育所の民間委託について

町政のここが聞きたい

防災・水害対策

起震車による地震体験の実施は、起震車等を所有する徳島県と調整し、関係者とも協議し、考えたい

問 災害が国内・国外問わず世界各国で続く折、行政の町民に対する防災意識の啓発は急務である。今後30年以内に60%の確率と言われている南海地震等の大規模災害に備え、第一に自助・共助の精神を養う「自主防災組織結成支援の拡充」である。行政・東部消防組合指導で各児童館・集会所で「起震車で揺れを体験」と被災地のスライド情報等で「地区防災住民説明会」を。また、夏休み、海水浴と水にかかわる季節を迎え、台風・豪雨水害、安全対策としてロープの結び方等、定期的な「水防講習会を」地区別・計画的に。

答 各種団体や地域の自主防災組織とも連携しながら、住民の皆さんが参加していただけるような水防講習会の開催を考えていきたい。

問 パークゴルフ場や各種スポーツ大会参加者が利用する河川敷運動公園への進入路の交通安全対策の「進捗を」。6月上旬、徳島河川国道事務所の副所長と、吉野川上板出張所所長に面会しました折、二人から前向きな助言をいただきましたので、予算計上で安全対策を。

答 拡幅には多大な費用がかかることが想定される。国交省の方とできる

河川敷運動公園・パークゴルフ場、堤防に進入標示板と道路拡幅で交通安全対策を
進入路拡幅は、河川敷運動公園全体の利用推移を見ながら考えたい



永浜 茂樹 議員

藍住歴史かるたの刊行と今後の普及活動
老人憩いの家や児童館にも配布し、高齢者と子供たちが一緒に楽しみながら、藍住町の歴史や伝統文化を学びあうツールとして活用していただければと考えている

その他の質問

- ◆ 藍住町交通安全対策協議会設置組織について
- ◆ 藍住町文化祭、近隣市町のようにイベント会場を1か所に
- ◆ 藍住町の春にんじんは全国一・にんじん（キヤロット）君のイラスト幕で今後も全国にPRを



問 文化の町・藍住町に歴史史跡、名所、観光場所表示として教育委員会による文化協会共催で念願の藍住歴史かるたの刊行ですが、今後の教育委員会の普及活動施策を伺いたい。

答 歴史かるたと解説書をセットにして町内の小中学校に配布し、藍住町の歴史や伝統文化を学ぶための教材として活用していただく予定である。また、有志の皆様方を講師として、町内の小学生希望者を主たる対象に、図書館で「藍住歴史かるた教室」を夏休みに開催すべく、現在、準備をしていただいている。

路線バス鍛冶屋原線廃止について

県及び関係市町による個別路線検討会で対応を協議していく

問 本町を通る鍛冶屋原線が、報道されたように廃止になるかもしれない。そのことに対する本町の考え方、対策についてお聞きしたい。

あわせて、応神・川内を回って勝瑞のスーパーマーケットまで乗り入れが決まっている徳島市のコミュニティバスを町内も一巡するよう導入したいのではないか。

答 鍛冶屋原線は生活路線として必要であり、存続要望の声もお聞きしている。県・関係市町とともに引き続き存続を求めていきたい。

今のところ、本町でのコミュニティバスの導入は予定していない。まずは路線バス維持のため関係機関と連携し、公共交通の確保に努めたいと考えている。

答 たった今、情報があがり、県においては、年内には接種に取り組めるよう検討することである。これを踏まえ、検診や検査の重要性を訴えつ



小学校給食調理の様子

本町での学校給食の献立は、4名の学校栄養士が当番制で毎月原案を考え、献立検討会で意見を出し合って決定。残食の多いメニューは内容を変えたり分量が検討され、好評なメニューだからと多く提供せず、栄養価を考えながら提供されている。児童・生徒が苦手な食材や献立も実施するよう工夫し、各校において給食指導を実施している。

子宮頸がん 予防ワクチン助成について 今後、検討したい

問 近年、発病が急増し、3千人近い死亡者を出している子宮頸がんであるが、若年時にワクチン接種をすると90%前後の予防ができ免疫が20年間にも渡ると言われているが、接種に対して4万5千円から5万円も負担になるので、この助成を本町ではできないのか。

つ、ワクチン接種費用の助成について、今後、検討したいと考えている。

問 学校生活の一番か二番の楽しみであるのが給食である。給食試食会に参加したが、おかずの量が少ないのではないかと。食欲には、見た目（色・彩り）において、味覚などが大切ではないのか。それらが重なって楽しめるものではないのだろうか。食や給食に対する教

育委員会のお考えや対策を聞かせてほしい。

答 給食の量は基準に則したもので提供しており、彩りについては、衛生管理上、ある程度の加熱処理はやむを得ないと学校栄養士から報告を受けている。



小西 浩昭 議員

給食の改善について 安心して安全な給食の提供に努めたい

町政のここが聞きたい



石組みによる川の浄化

正法寺川の水質浄化は、行政の責任で アシ等の植栽による浄化を実施

問 正法寺川水質浄化アンケートが、3月、2千人を対象に県により実施された。住民は「整備費用を負担しなければ、川はきれいにならないのか」と怒っており、この論理は「ごみの収集費用は、いくらであれば負担できるか」と変わらない設問だ。

① 町の考えと浄化対策は

答 県のアンケートの趣旨は推し量ることができない。

東中富親水公園からの引水、県によるヘドロの浚渫、生活排水等が入り込む所の石組みによる浄化などを行っている。



林 茂 議員

ごみの分別と減量化は、 町民の協力が不可欠 更に取りサイクルを推進したい

問 ごみが増加する対策で、ごみの分別や減量を町民に呼びかける一方、粗大ごみの手数料やごみ袋の有料化を行ってきた。

① 一般廃棄物処理実施計画で平成18年度以降の成果は

② 藍住西小と藍寿苑も生ごみ処理機を使用しているが、効果と他校へ導入は

③ 容器リサイクル法の5か年計画は。分別処理と障害者雇用の検討は

④ ごみの分別と減量化なども進んで、町財政の負担は大きく軽減されたので、高いごみ袋は引き下

げること

答 ① 平成21年度の計画

収集量は18年度と比べ、1,030トンの減量。

② 約10〜20%の残渣に処理でき効果はある。高額なため他校への導入は難しい。

③ アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、段ボール、紙パック、ビン類を分別収集。分別処理での障害者雇用はケガの危険性があり、今はしていない。

④ ごみ出しルールが徹底した段階で速やかに値下げをしたい。

① 町が実施する施策で検討委員会を設置する計画だが、人選方法は

② 委員会の公開と議事録の公表は。委員手当の有償化は

③ 入札制度の改革の実施が他分野より遅い理由は

④ 町財政や町民負担も大きい公共下水道事業で検討委員会を設置しない理由は

集中改革プランで、町民の暮らしは良くなるのか疑問 住民サービスの向上についても検討

町職員以外の委員の報酬等は検討中。

③ 5年間で順次検討を進める予定。平成24年度を目標としている。

④ 広域事業のため町単独で決定できず、行財政改革の一環としては是非を問えないと考えている。

答 ① 現在、保育所再編

検討委員会（ア）と事務事業改善委員会（イ）を設置。専門性、高度性を考慮しつつ人選。

② （ア）保護者や一般公募の方もおり、原則非公開。議事録は申請があれば開示。

（イ）町職員だけで構成。検討結果報告書を作成し、逐次、議会にも報告の予定。



ごみの分別・リサイクルを心がけよう。

学校支援地域本部の設置状況

学校現場と十分協議する中で、学校に合った形で進めていきたい



巡視員による下校時の見守り活動

いさつ運動、中学生を主な対象とした生徒指導の充実、教職員の多忙感を緩和し従来以上に子供と向

問 近年、青少年の犯罪、不登校など、さまざまな問題が発生している。核家族化、個人主義の浸透などによって、「地域の教育力の低下」が指摘され、学校でも多様な問題に対応が難しくなっている。このような問題を改善するため、地域全体で学校を支援する「学校支援地域本部」が設置されている。現在、藍住町の運営状況を伺いたい。また、本町の「当面の教育上の課題」についても伺います。

答 学習支援、環境学習、読み聞かせ、手話、藍染め、阿波踊り、食育指導、クラブ活動の補助、下校時の見守りをはじめ、花壇の手入れなど、多方面にわたり支援をいただいている。

本町の当面の教育上の課題は、家庭教育の充実、子供の安全確保、子供の規範意識と自尊感情の育成、食育の一層の推進、幼児教育の充実、町内あ



西川 良夫 議員

問 一部負担金の助成方法がこれまで受領委任払い制で患者の窓口負担は0であった。しかし、平成20年より償還払いに変更になり、患者にとっては大変不便になった。こ

重度心身障害者、乳幼児医療費助成における、柔道整復師の施術療養費一部負担金の助成方法
できるだけ早い時期に受領委任払いに切り替えたい

の制度は、社会的弱者、子育て支援策であり、その趣旨に逆行している。子育て支援の観点から、受領委任払い制にしてはどうか。

答 確かに償還払い制は住民にとって手間と負担がかかるため、事務手続等について検討を進め、できるだけ早い時期に受領委任払い制に切替えを進めたい。

き合える時間の確保の8項目である。学校、家庭、地域社会がそれぞれの立場で努力すると同時に、相互に協力し、連携していくことが大切だと考える。

問 藍住町のホームページには、各施設や各部署の代表者氏名を掲載していないのはなぜか。責任の所在を明らかにすることで住民と行政との信頼関係も一段と高くなるのでは。また、今後の住民サービス向上についての取り組みをお伺いします。

答 担当者を表示するとその職員のみへの対応となり、電話の集中や不在時の場合などに問題があると思われる。

本年度秋にシステム改修を行い、インターネットで町立図書館の蔵書図書の検索や予約が行えるよう計画している。

**ホームページの活用で
住民サービスの向上
施設案内の充実を図っていききたい**

視察研修報告

議会議員

西川 良夫

8月5日から2泊3日の日程で、議員ほか町長、事務局長の13名で北海道

・恵庭市役所と倶知安町役場の視察研修を実施した。視察目的は、全国共通課題でもある少子化、環境施策がどのように進められているか、特に四国の入植者らの苦闘によ

って築かれた北海道に学ぶことにあつた。

最初の訪問地、人口6万8千人の恵庭市は「ガーデニングのまち」として知られ、市役所入り口周辺では色鮮やかな花々が私たち一行を歓迎してくれた。職員から、保育園の民営化について、説明を受けた。



恵庭市役所

これまで10回余り徹底した説明会を行い、平成21年度から民営化された「さくら保育園」。0歳から5歳までの90名の園児を受け入れ、



倶知安町役場

市民の理解の下、順調な運営だとのことである。

「民間委託は保育サービスの低下になるのでは、と質問してみた」その懸念は当たらないと強調。

その根拠は市民、保護者、保育士等による民営化基準のガイドラインの策定、また職員体制の確立、職員の研修会の実施によりこれまでの質を確保しつつ多様化に柔軟に即応できる運営を目指しているとのこと。民営化は住民に対して、その目的を

分かりやすく、忍耐強く説明することだと語ってくれた。花を愛する恵庭

市民、子どもたちへの愛情も花以上であると感じられた。

2日目は倶知安町を訪問。美しい羊蹄山、ニセコ連峰のふもとにある倶知安町。明治25年に徳島県出身他5人が原野に入植したのが始まりと言われている。一冬の降雪量13メートルの豪雪地帯で、全国有数のスキー場を有する、人口1万5千

人、今、外国資本によって急速に発展している。

ごみ問題一筋に取り組んで20年になるという荒野洋子副議長は、ここま

で来るのに容易ではなかったと力説。倶知安町では「ごみ処理費の3割程度を住民の負担とする」ごみ処理の有料化を検討し、議会の議決により平成元年6月より有料化となった。ごみ袋1枚あたり(大)40リットル80円と高めになっている。生ごみ、その他燃やせるごみ、プラスチック類を含めて固形燃料に再生

し、大手企業などに販売している。紙類は小さな名刺、封筒、菓子類の空き箱まで丁寧に分類されリサイクルに、町内には470か所のごみステーションがあり、管理清掃は町内会が行う。セクター持込は10キロ40円。エコガレージなどの施設によりリサイクル率90%と誇る職員の説明、もう

ごみを燃やすのは時代遅れだと話してくれた。この度の行政視察で次世代への指標は、開拓精神溢れる北海道だと確信した。



エコガレージ (倶知安町)

町からの主な報告

行財政改革

特に重要性が高いと考
えている保育所の民営化
については、徳島大学教
授を委員長とした保育所
再編検討委員会を設立
し、検討を始めた。
また、職員を委員とし
た事務事業改善委員会も
設立している。

市機能充実に寄与する特
定大規模建築物の整備を
実施するための開発整備
促進区を定める地区計画
は、5月14日に徳島県知
事の同意を得て、同日、
公告の手続きを執った。

これに伴い、開発事業者
等において農地転用・開
発行為・建築確認等の許
可を得しだい、工事着手
されると思う。

地区計画

商業・沿道ゾーンの都

藍住中学校 旧校舎の改築



藍住中学校

旧校舎は老朽化
も著しく、今年
度、改築の実施
設計を行い、平
成23年度に改築
を予定してい
る。
また、町内小
中学校の内、藍
住中学校のみ学
校プールがない
ため、改築に併
せてプールの建
設も検討したい。

浄水場整備事業



新浄水場

配水池容量不足解消と
老朽浄水施設の更新を目
的として平成19年度に工
事着手したが、天日乾燥
設備等の工種を除く浄水
場設備が完成。6月10日
未明から通水を開始。新
浄水場の竣工は本年10月
下旬を予定している。

家庭系一般廃棄物の 持ち去り禁止

ごみ集積所からの家庭
系一般廃棄物の持ち去り
について、罰則規定を盛
り込んだ条例を制定した

藍住町納税 貯蓄組合連合会

いと考えている。関係機
関と協議しているが、回
答が遅れているため、今
議会の上程は見送った
が、調整が終わり次第、
条例案を提出したい。

当初目的とした役目は
少なくなってきたことか
ら各地区組合にご意見を
確認した結果、連合会は
5月末をもって解散し
た。なお、各地区の納税
貯蓄組合については、従
前どおりの活動をされる
と聞いている。

定例会案内

次の定例会は9月です。
次号は11月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができ
ます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け
付けていますので、議会事務局までお気軽
にお越しください。なお、傍聴席の定員に
は限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集
しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せくだ
さい。

投 稿 規 定



- 1.住所・氏名・電話番号を明記。
- 2.掲載時に匿名を希望する方は申し出てく
ださい。
- 3.字数は500字以内。
- 4.投稿者の多い場合には、掲載月を調整す
る場合があります。

わたしの一言

矢上 竹田 節夫さん

貧困解消は重大事である。完全失業者が300万人、年収200万円以下の労働者が1000万人、厚労省が発表した「相対的貧困率」で、貧困ライン（平均所得の半分）以下の人が2千万人以上、生活保護受給者が160万人を超えている。生活困難が、子育て世代や青年、高齢者に集中しているという。低賃金、低水準の年金が、要因であろう。多重債務問題、相次ぐ子どもの虐待や悲惨な事件。「心の病」の人、孤独死、介護殺人の増加。自殺者は毎年3万人を超える。

これらの背景に、貧困問題があることが指摘されている。貧困が、地域で「孤立」を生み、低所得者が社会的に排除されようとしているとも言われる。

いま、地域で、人間的なつながりが構築され、誰もが希望を持って、生き生きと生活できるようになることが切望される。前回町議選以後の議会で見ると、貧困関連の質疑を町議会で行ったのは5名の町議で、全質問項目総数の約1割。もっと取り上げてもらえればと思うのは、私ひとりだろうか。



議会のうごき

5月

- 9日 勝瑞城館跡まつり
- 11日 北島町正副議長就任挨拶
- 13日 第3回臨時議会
- 議会全員協議会
- 18日 福寿連合会定期総会
- 18日 第35回町議会議長研修会(東京都)
- 21日 商工会通常総代会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 板野町正副議長就任挨拶
- 28日 第20回徳島県町村議会議員研修会(板野町)
- 議会全員協議会
- 第4回臨時議会
- 議会運営委員会

6月

- 8日 6月定例議会開会
- 新浄水場通水式
- 議会全員協議会
- 15日 観光物産協会通常総会
- 16日 6月定例議会一般質問
- 18日 藍住町防災団総会
- 21日 6月定例議会閉会
- 板野防犯連合会総会(板野町)
- 板野東部消防組合議会臨時会(北島町)

7月

- 1日 徳島市正副議長就任挨拶
- 2日 上板町正副議長就任挨拶
- 2日 徳島県町村議会議長会本部役員会及び理事会・事務局長会合同会議(徳島市)
- 21日 東四国横断自動車道建設促進期成同盟会(徳島市)
- 23日 板野東部消防組合
- 26日 第二消防署起工式
- 29日 板野西部青少年補導センター組合議会臨時会(板野町)
- 30日 議会だより編集委員会
- 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会(徳島市)



編集後記

先の参議院選では、混迷する政治への不信感と期待への裏切りから、国民が厳しい審判を下しました。

私たち議員も住民の皆様への期待を担って信任を受けている以上、住民の皆様のために日夜頑張っていかなければならないと改めて肝に銘じた参議院選でした。

残り少なくなってきた夏休み、子供たちは残った宿題に汗を流し、夏休みの想い出を絵日記にまとめている頃ではないでしょうか。

子供たちが安心して安全に勉強でき、そして、住民の皆様が楽しく暮らしていける町づくりに私たち議員も一生懸命頑張っています。

議会だより編集委員会

委員長	奥村晴明
副委員長	小西浩昭
委員	矢部秀行
委員	佐野慶一